

延命寺報

慈光

平成28年11月
第1号



住職挨拶

阿部雄峰

住職に就任して四ヶ月が経ちました。大分落ち着きましたので、今月から年三回ほど、延命寺の近況や法話等を掲載した延命寺報『慈光』を皆様に送付させていただきます。

今月は第一号ですので、まずは私の自己紹介を兼ねてご挨拶させていただきます。

私は昭和五十二年新潟県西蒲原郡分水町（燕市）の吉田寺の次男として生まれ育ちました。分水町は江戸期の禅僧である良寛の里で、海あり山あり川ありという自然豊かな土地です。

大学卒業後は永平寺にて三年間修行してきました。永平寺を下りてからは、特別養護老人ホームに一年ほど勤め、より多くの人の助けになりたいと思い、曹洞宗宗務庁内曹洞宗総合研究センター教化研修部門に入所し、現代の様々な諸問題（環境・平和・人権等）に対して僧侶がすべきことについて研究・実践してきました。

縁あって五年前に延命寺に参り、今年七月より住職になりました。檀務の傍ら曹洞宗布教師、中日文化センター講師、正風会会長（青年僧侶布教の会）なども務めさせていただいております。

最近では、暇があれば庫裏や本堂を独学で少しずつ修繕しています。檀信徒の皆さんに気軽に遊びに来ていただけるようなお寺、皆さんの心に住む住職を目指して日々精進しています。近くに來られた際は、ぜひお茶でも飲みに来てください。

合掌

延命寺の歴史

七世紀後半、天武・持統天皇時代の白鳳文化期に造営された白鳳寺院のひとつ清林寺が延命寺の前身となります。

清林寺は甚目寺・法性寺と同時期に造営されました。創建当時は天台宗でしたが、のちに真言宗となります。十二僧坊ある大伽藍で、盛時には寺禄千石を領し、偉容を誇った名刹でした。

一一五六年に源頼政公が平氏討伐のために関東下向する折、当地にて目の病に罹り、本尊薬師如来に十七日間祈願したところ回復し、念持仏を如来の体内に納め下向したと伝えられています。

それ以来、靈驗あることが広まり、多くの信者によって支えられてきましたが、戦国時代の兵禍で全諸堂ごとく焼失し、延命寺坊のみが残りました。

その延命坊を一五四五年に法持寺四世仙英良菊が開山となり、清林寺の寺号を青林と改めて山号とし、寺号を延命寺と改称して曹洞宗に改宗しました。現在の住職は三四世です。

延命寺の本尊



延命寺の本尊は地蔵菩薩です。

地蔵は、大地を包み込むほどの慈愛の心を持っていることを表しています。

お釈迦様が入滅し、無仏の時代になり、人々の不安が強くなったとき、五六億七千万年後に弥勒菩薩が現れてすべての人を救うという信仰が現れ、その中間を委嘱されたのが地蔵菩薩です。

浄土信仰が現れると、阿弥陀如来を信じない人が地獄に落ちる恐怖から、地獄でも側にいてほしいという願望になり、六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上）のどこにいても救ってくださるという信仰が生まれました。それは、死んだ子への救済信仰にもなり、水子供養が生まれました。

写経観音



住職就任記念の品として延命寺に写経観音（十一面観音）を寄付させていただきました。

お檀家さんや中日文化センターの生徒さんから「お写経をどこに納めたらよいのか」と質問されることが多く、それならば延命寺に写経観音をお祀りし、納めていただこう、と思ったからです。

十一面観音は、苦悩する人を見つめるために全方向を見守っています。それぞれの顔はなだめたり、怒ったり、励ましています。願い事や先祖の供養、様々なことに力をくださる菩薩様です。

ご自宅にお写経がある方は、ぜひお寺にお持ち下さい。また、お寺でも写経ができますのでご連絡ください。

ブツダの言葉に学ぶ

むしろ愚者がみずから愚であると考えれば、すなわち賢者である。

愚者でありながら、しかもみずから賢者と思う者こそ『愚者』だと言われる」
『法句経』

「賢い人」というのはどういう人を指すのでしょうか。一流大学を出た人、いろんな資格を持っている人、知識が豊富な人。確かにそういう人を一般的にエリートといい、賢い人といいます。

しかし、知識や学歴があるからといって賢いとはいえません。自分が学んできたことは深く知っていても、世の中のすべてを知っているわけではないからです。ノーベル物理学賞を受賞した物理学者でも宇宙の物理学的現象の総体のごくごく僅かな部分しか知っていません。エリートといわれる人たちというのは狭く深く物事を知っているにすぎないのです。

それなのに自分は他の人と違う、エリートだ、と思っている人も少なくありません。そこまで思っていないくとも他と比べて自分の方ができるなんて思い、優越感

にひたるなんてことは誰もがあろう。実はそういう人を愚か者とお釈迦様はいうのです。お釈迦様はこうに言われています。

愚か者は、虚栄心のゆえに、修行者の間では尊敬を欲しがる。僧院では権力を、信者の家では尊敬を欲しがる」

自分を賢いと思っている人には驕りや慢心がついてまわります。周囲から尊敬されたいという気持ちを持ち、時には人を下に見る、それが態度に表れるのです。そうなるのと逆に周りから敬遠されてしまいます。自ら自分を不幸にしているのが愚かなのです。そしてお釈迦様はこのように続けます。

愚か者は生涯賢者だと思っている。人に使えても真理を知ることがない。匙が汁の味を知ることができないように」

自分を賢いと思いこんでいる人は他人から学ぼうとか、正しい教えに学ぼうという姿勢が欠けてしまいます。それでは自分自身の成長は望めませんので愚か

なのです。

愚かさを知る人は瞬時の間に真理を知る。舌が汁の味をただちに知るように」

一方、世の中には、自分は分かっている、自分は間違っているかもしれないという認識を持つ謙虚な人もいます。愚かさの自覚がある人です。このように「自分は愚かで未熟だ」と自覚する人は、人の意見や教えに謙虚に耳を傾けて良いことを吸収しようとしします。己の愚かさを知らない者は、ますます愚かになり、愚かさを知るものは人の意見を聞いてより賢くなるのです。

この違いがわかって人こそ、真の賢い人といえるでしょう。

謙虚な人には自ずと人が集まり、そのため善き縁に恵まれて幸せを得る、とお釈迦様は説かれています。自分の愚かさを自覚し、常に謙虚に生きていきましよう。



精進ごはんレシピ



ヘルシーで美味しい
精進餃子

〔長芋餃子〕

材料(3人分)

長芋…1/2本 人参…1/3本 キャベツ…1~2枚 椎茸…1枚 餃子の皮…10枚
塩…小さじ1/2 胡椒…小さじ1/2 辛子…適量

作り方

- ② 人参を5mm位のあらわれ切りに、キャベツ・椎茸を5mm位の四角に切る。
- ② 人参とキャベツを胡麻油でサッと炒め、塩・胡椒で味付けする。
- ③ 長芋をすりおろし、②を混ぜ込む。
- ④ 餃子の皮で一口大に包む。
- ⑤ 蒸し器を沸し、オープンシートを敷いた上に並べて5分間蒸す。
- ⑥ 火が入ったら、器に盛り付け、醤油を添える。

お知らせ

◆除夜の鐘 十二月三十一日(金) 二十三時半〜
今年から除夜の鐘をつきます。温かいお汁粉を用意しています。ぜひご家族でお参りください。

◆大般若会 二月十一日(祝日) 十四時〜
十七年ぶりに、檀信徒の皆さんの一年の無事を祈る大般若会を行う予定です。詳細は後日ご連絡致します。

◆庫裏新築工事
境内の南東に住職家族の住居を新築することが役員会議にて決定しました。工事中はご迷惑をおかけしますが、何卒宜しくお願い致します。

◆客殿(旧庫裏)修繕工事
今までの庫裏を客殿とし、法要控室や集いの場等の多目的施設としてご利用いただけるように簡単な修繕工事をします。

ご寄附の御礼

津島市 長光寺様より
金襴袈裟・大衣
豊山町 近藤剛司様より
法衣用靴
中村区 池田フサ江様より
阿弥陀如来像
深く御礼申し上げます。

編集後記

最近、お寺に近所の子ども達が遊びに来てくれます。有り難いことです。
お寺は人が集まるコミュニティの場でなくてはなりません。多くの人が訪れるお寺になるよう日々精進してまいります。

青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109 FAX : 052-485-6496

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。
HP を開設しました。最新情報はこちらを御覧ください。

<http://www.seirinzan.com>